

福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日
令和5年6月21日（水）
- 2 確認箇所
高性能多核種除去設備
- 3 確認項目
高性能多核種除去設備の状況
- 4 確認結果の概要

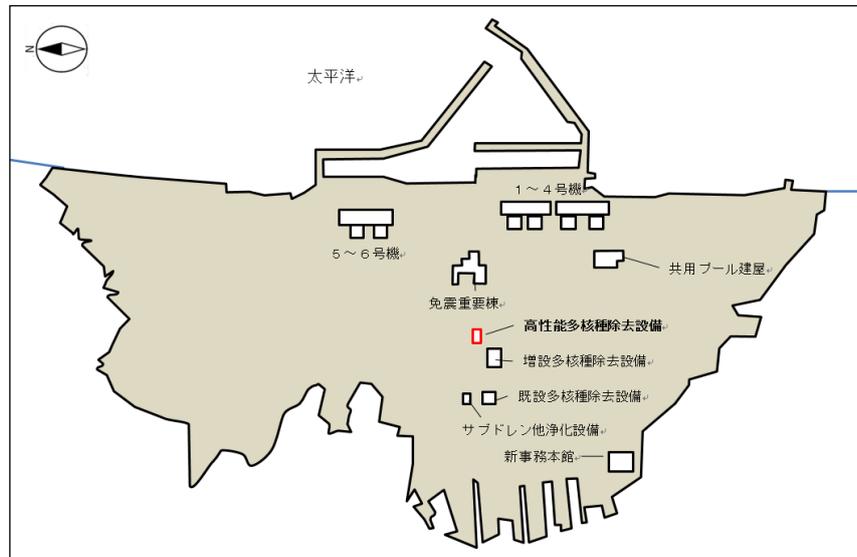
高性能多核種除去設備（以下「高性能ALPS」という。）は、前処理設備及び多核種除去装置で構成されており、前処理設備（前処理フィルタ）で浮遊物質の除去及びセシウム・ストロンチウムの粗取りを行い、後段の多核種除去装置（吸着塔）で吸着材による核種の除去を行う構成となっている。

今後の処理途上水の二次処理等に向けて、これまで待機状態としていた高性能ALPSを稼働させることが計画されている。令和5年2月28日に使用前検査を終了したことから、設備の状況について確認を行った。

（図1）（写真1）

また、水処理二次廃棄物（吸着材）の処理方法を検討するための吸着材採取作業が6月5日から実施されていたため、状況を確認した。

- ・現地確認時、月1回の頻度で行われている循環運転が実施されており、東京電力社員2名による現場パトロールが行われていた。（写真2）
- ・目視した範囲においては、配管及び設備からの漏えい等の異常は確認されなかった。（写真3）
- ・高性能ALPS建屋内東側には、キュリオン及びサリー使用済吸着塔内の吸着材を採取する試料採取装置が設置されていた。（写真4）
- ・東京電力によると、国の調査研究として吸着材の処理・処分方法の検討に向けて吸着材を採取し、今後分析を行う予定とのこと。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)
高性能ALPS建屋
(南西側から撮影)



(写真2)
循環運転時の東京電力社員による現場パトロール状況
(西側から撮影)



(写真3)
吸着塔周辺の状況
(東側から撮影)



(写真4)
試料採取装置
(キュリオン及びサリー使用済吸着塔
内吸着材採取用)
(西側から撮影)

- 5 プラント関連パラメータ等確認
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。